

ブロック新聞

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区

千葉ブロック協議会

文化と文明が描く 自立自活した千葉の再興



CHIBA Bloc

検索

千葉ブロック協議会
会長 岩瀬 朋彦



第5版になります。ブロック新聞をご覧頂きありがとうございます。右の写真は第1回JCIカップU-11少年少女サッカー大会関東地区予選大会で元日本代表中田浩二さんと撮らせて頂いた一枚です。何といたっても千葉代表のWingsさん(千葉JCI推薦)が優勝されたことが本当に嬉しく、また大変感謝しております。全国大会でもきつと活躍してくれることと期待しております。さて、国内では九州電力川内原子力発電所1号機が東日本大地震後の新規制基準に基づき初めて再稼動しました。海外では中国が人民元を約2%切り下げたことで世界中に波紋を呼んでいます。我々青年経済人も状況の変化が常に起こっていく中で、どう変化する、どう対応していくかが重要な事だと思えます。猛烈な暑さが続く毎日です。体調管理を十分に、元気に青年会議所活動を邁進して頂きますようお願い申し上げます。

座談会

㈱オリエンタルランド
代表取締役社長兼COO
上西 京一郎 氏



岩瀬 我々青年会議所では、JCIミッションとJCIビジョンがあります。上西社長の中での**企業理念や行動の方針**についてお聞かせ願えればと思います。

上西 会社の存在意義とは何か。ということだと思えますが、現在の企業理念や企業使命については、1996年に策定しました。同時に、2010年にはこういう姿になりました。というビジョンも作成いたしました。ビジョンについては大枠でイメージし、今の姿である2パーク体制や、ホテル、モノレール、商業施設イクスピアリといった東京デザインリーゾットなどについて、当時としてありたい姿を描きました。そののが、「自由で瑞々しい発想を原動力に、夢・感動・ひととしての喜び」そして「安らぎを提供します」という**企業使命**です。「夢」「感動」というワードを世の中に提供し、人々を幸福にすることを使命としていま

す。ビジョンはこの企業使命を具現化、具体化させていくためのものです。我々が企業活動をしていくうえでは、その使命をどうやったら果たせるかということを考え、実行していくことが大切だと思っています。日常の仕事すべてにおいて100%実現していくことは難しいことですが、比較的大きな判断をする時は必ず企業使命に立ち戻って、企業使命にあっているかどうかを判断材料の一つになつていきます。このような話は難しい話ではなく、重要なのは企業使命についてどのようにな形で実現すべきかを考え、そして継続しておこなっていく意思であると思っています。当社には企業使命の他に、従業員がとるべき姿勢・指針として「**探求と開拓**」「**自立と挑戦**」「**情熱と実行**」という**行動指針**があります。これも念頭に置きながら自分の行動を常に振り返ることが重要です。企業使命や行動指針を十分に理解したうえでしっかりと活動していくことがオリエンタルランドグループの存在意義であると考えていますし、それをもとにメンバーに対して、具体的なメッセージを発していくことも大切だと思っています。当社は、ほぼすべての従業員が企業使命に共感を持っていると思えます。人に喜んでもらうこと、感動してもらおうことに自分が喜びを感じられないと思ってしまう。事業はできないと思ってしまう。

金子 今後、海外のお客様も、より増えていくと思えますし、高齢化社会がさらに進んでいく中で、お客様の層も変わっていくと思えますが、御社のアトラクション等も含めた経営戦略について少し先を見据えたお話をお聞きしたいと思います。

上西 グループで80%以上を占めるテーマパーク事業を、どうやって成長させ、進化させていくかが、経営として大きなポイントになります。昨年、2023年迄にどうい



う姿になつていかたいかという開発方針を掲げました。東京デイズというランドのエリアを約2倍にするという予定があります。東京デイズというランドの方は、現在7つのテーマポートで構成されていますが8番目のテーマポートを開発しようという大きな動きがあります。それ以外には、老朽化に伴うメンテナンスやインフラ整備、バックヤードの充実などを考えており、10年間で約5000億円の投資を行おうと

思っています。以上のことを確実に
行い、パークのゲストの満足度をし
っかり上げることが、事業としての
成立に結び付き、その次の10年の
基盤になると思っています。舞浜の
外に出ても企業使命を果たしなが
ら企業価値を上げるようなことは
できると思うので、新規事業も含め
てチャレンジしていこうと思いま
す。

三須 私達青年会議所は20〜40歳
の会社の社長やそれに準ずる者が
集まっています。自分も会社を経営
しておりますが、社員教育についてオ
リエンタルランドさんは非常に有
名です。その**教育方針**についてお聞
きしたいと思えます。

上西 最高のパフォーマンスを出
す為には自分がやっている**仕事**が
好きであり、そして**情熱**をもってい
るかということが非常に大切なこ
とだと思っています。働いている人
達は、企業使命への共感やデイズニ
ー事業への愛情を持っています。そ
の前に加え、パークで働く上での
心構えや必要な行動基準などをし
っかりと教育することで一生懸命
働いてくれる人財になっていくの
だと思っています。接客業に向いてい
るとか基準はいろいろありますが、や
はり自分が働くこうとしている会社
での事業が好きかどうかというのが
一番大切です。そういう思いがな
いと、プラスアルファの力で何かを
生み出し、成果に繋げることは難し
いと思います。また、当社では従業
員のモチベーションや帰属意識を
高める取り組みもおこなっていま
す。例えば閉園後のパークを貸切り
にし、普段フロントラインで働いて
いる従業員がゲスト、管理職などが
もてなす側となるサンクスデーと
いうプログラムや、お互いを褒め合
うようなメッセージカードの交換
などをおこなっています。こうした
仕組みについては、作るだけでなく、
継続的に実施していくことが大切
です。



金子 東日本大震災の時に、来場者
に対してお土産の食料をお渡しさ
れたことなど、マニュアルにはない
素晴らしい対応をされたと聞いて
おりますが、その時のお話をお聞き
しても宜しいですか。

上西 この概念は全てをマニユア
ル化することはできません。特にホ
スピタリティについては、こうやっ
たら3000万人のゲストが喜ぶ
というのは難しいものです。**行動基
準をまず理解して、それをパークの
フロントラインに近い人が自主的
に行動していく**。そしてスーパ
バイズする人がなるべくその自主
性を重んじてゲストの方に喜んで
いただけるように彼らを支援する
ようしたことを30数年間おこな
ってきたので、クライシスが起こっ
た時にゲストが何を求めているか
という本質的なことについて立ち
戻って考え、行動することができた
のだと思っています。お腹が空いて
くるのはもちろん、ものが落ちて
くるとは不安になります。寒

さや雨を凌いでもらうために、ビニ
ールシートなどをゲストにお渡し
したのですが、このような行為は通
常のパークオペレーションではお
こなっていません。この時ゲストは
何をすればよいのか、何を提供すれ
ばよいのか、どのように誘導すべ
きかなど、行動基準がしっかり根付
いていたことで、各フロントラインの
従業員が自発的にいろんなことを
やってくれたのではないかと思
います。一つ一つ上から細かい指示を
出したのでは、あのような振る舞
いにはならないと思います。今迄の積
み重ねの結果ですので従業員の皆
さんには本当に感謝しています。

岩瀬 最後に一つだけ。約1000
名のメンバーが千葉県内にいます。
その**メンバー**に対して**メッセージ**
をお願いします。

上西 自分も人生で千葉県に住ん
でいる方が東京よりも長くなって
きました。千葉県は本当に食べ物
もおいしいし、海も山もあって、す
ごく魅力的だと思います。こんな
素晴らしい地域は自慢したいです
よね。だからもうと千葉県人がPR
マンになっていくことが必要だと
思います。640万の県民がPRし
たらすごい発信ができると思いま
す。そのためには**千葉県を大好きに
ならなければならぬ**し、その中で
仕事をして、生活をしている自分達
も**大好きにならなければならぬ**。
そうやっていけばブランド力が高
まって、人が集まってくると思いま
す。誇りを持って好きになるとい
うことが大切です。

略歴

- 1980年4月 入社
- 2003年6月 取締役総務部長
- 2005年5月 取締役執行役員
総務部長
- 2008年4月 取締役執行役員
経営戦略本部長
- 2009年4月 代表取締役社長
兼COO(現在)



左から、金子理事長、岩瀬会長、上西社長、三須委員長、嶋田委員長補佐



事業案内

『第64回全国大会』

東北八戸大会

〈開催理念〉

三陸復興国立公園に指定されている種差海岸をはじめ美しく豊かな自然に恵まれた八戸は、海から拓け、漁業や商業の重要な拠点として発展し続けています。しかし、東日本大震災の発災により東北地方を中

心に甚大な被害を受けました。人々は絶望感と虚無感に打ちひしがれながらも、互いに力を合わせることで困難を乗り越え、今日まで復興を成し遂げたのです。震災から力強く歩みを進めてきた原動力は、「まちはそこに住む人の意識以上には良くならない」という理念のもと、40年にわたり「ラブはちのへ」運動を推進してきた中で醸成された郷土愛に他なりません。そして、愛するまちのために人と人とがつながり率先して取り組む「市民先導のまちづくり」こそ、八戸に根差した「底知れぬ力」なのです。

躍動する八戸の地に集うJAYCEEが、日本青年会議所の一年間の運動の集大成と共に、幾多の困難を乗り越えてきた八戸の持つ「底知れぬ力」を全国各地へ伝播させ、活かすことで地域の未来を切り拓きます。

第64回全国大会東北八戸大会は、住まう故郷を愛し、未来を生きる人のために美しく先駆けするJAYCEEが、未来へ向けて夢や希望の抱くことのできる自立自活した地域へ再興し日本再興へと導く大会とします。



(公社)八戸青年会議所
直前理事長
大会実行委員会
大会顧問
(公社)日本青年会議所
2015年度JCBプロ
グラム実践委員会
委員長
山子 泰典 君

我々八戸青年会議所は全国大会に向けて2011年より計画を進めて参りました。2012年に主幹が決定してから三年間、トピックスとして大きいのは2011年に起きた東日本大震災です。東北地方を中心に、大きな被害を受けましたが、我々八戸は他の地域に比べ、被害は小さかったと思います。それは地域コミュニティがしっかりとしていたという事や、人と人との繋がり、人と地域の結び付きがあったことで被害を小さく抑えることができたのかもしれない。三年間の青年会議所活動の中で、何度となく「是非八戸で全国大会をやって東北の現状を伝えて欲しい。復興に寄与して欲しい。」というお言葉を頂きました。そういう意味で今大会は本当に東北地区からの信頼と付託を得ての開催だと思っております。

八戸の魅力は何と言っても『食』です。八戸前沖サバや雲丹と鮑のお吸い物の越後煮、せんべい汁も有名です。BIGランプリは八戸から始まったのですが、それを含めて市民が先導して地域コミュニティを築いてきたと言えますし、お店の人達も凄く気さくなので是非八戸という街を楽しんで頂きたいと思えます。

八戸青年会議所ではラブはちのへ運動というものを40年間行っており、それがしっかりと浸透しているという事も見て頂きたいと思えます。そしてスローガンとしては「美しく先駆けよう、すべては未来を生きる人の為に。市民先導の町作りから日本再興へ」という全国大会のスローガンを体感していただいで、地域の魅力と東北復興の元氣、またJCI100周年でのリーディングLOMとしてのナショナルコンベンション全国大会という事で自然と人と色々な物が垣間見られる中で東北というものを味わって頂きたいと言いうのが僕たちのメッセージです。

心より多くの皆様のご来場をお待ちしております。

全国大会開催地・開催概要 決定!!
9/5土・6日 J-GREEN 堺(大阪)
 詳しくはこちら



『J Cカップ U-11 少年少女 サッカー大会全国大会 大阪』

北海道地区代表 苫小牧 Yell Football Club
 東北地区代表 MIRUMAE FC(岩手)
 関東地区代表 Wings(千葉)
 東海地区代表 知多サッカークラブジュニア(愛知)
 北陸信越地区代表 大門少年サッカークラブ(富山)
 近畿地区代表 加古川神野 SC Amizade Jr(兵庫)
 中国地区代表 SSSFC(山口)
 四国地区代表 多喜浜・垣生サッカースクール(愛媛)
 九州地区代表 ソレッソ熊本(熊本)
 沖縄地区代表 大山 SC

以上全10チームが、9月5日・6日の全国大会で優勝を争います!

事業報告

『サマーコンファレンス2015』

平素は、公益社団法人 日本青年会議所の運動にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

サマーコンファレンス2015は、全国697すべての会員会議所から、過去最高であった昨年の登録数を上回る10,350人のご登録をいただき、無事、幕を閉じました。日本青年会議所最大の運動発信の場であるこのサマーコンファレンス開催にあたりご協力を賜りました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

「イノベーションを起こす思考」すべては未来を生きる人のために文化と文明が生み出す『底知れぬ力』による日本再興をテーマに掲げた今年は、1966年に、前身である第1回政治問題セミナーが開催されたから50年目、横浜の地にて開催20回目というサマーコンファレンスの歴史における節目の年でもありました。この節目に相応しくあるべく、様々な分野で活躍されているイノベーターの方々をフォーラムやセミナーのゲストスピーカーに迎え開催しました今回のサマーコンファレンスが、これからの、皆様お一人おひとりの行動や活動において、さらには、日本が抱える諸問題に対し、イノベーションを起こすきっかけになれば幸いです。また、理事長をはじめとする会員会議所メンバーの皆様におかれましては、先に実施しましたアンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。アンケート結果は、是非、9月に開催されます全国大会東北八戸大会へ活かして参りたいと存じます。結びに、このサマーコンファレンスで得られた「イノベーションを起こす思考」をもって、皆様方が未来に向けて美しく先駆けていただくことを祈念し、サマーコンファレンス2015の御礼とさせていただきます。



公益社団法人 日本青年会議所
会頭 柴田 剛介

『J.C.カップ U-11 少年少女サッカー大会』

関東地区予選大会

2015年8月8日に「第1回J.C.カップ U-11少年少女サッカー大会」が茨城県鹿島市の鹿島サッカースタジアムにて行われ、千葉ブロック予選大会の優勝チームであるWings(公益社団法人千葉青年会議所 推薦)が関東地区大会にて優勝致しました。

Wingsの皆さん本当におめでとう御座います。

全国大会での活躍を期待しております。

全国大会は9月5日・6日大阪府堺市にて開催されます。



千葉の風景

大原はだか祭り

千葉県いすみ市で300年程前から行われている、関東随一のお祭りです。怒濤の中で18社の神輿がもみあう『汐ふみ』や大原小学校校庭で行われる『大別れ式』、『商店街渡御』の3つは勇壮豪快で、見どころとなっています。

日時 9月23(水)日・24(木)日



良磨が行く

JAYCEE MAN

JAYCEE WOMAN



仁茂田 咲子 君
 (にもだ さきこ)
 一般社団法人 茂原青年会議所
 副理事長
 千葉ブロック協議会
 ブロックアカデミー委員会
 副委員長
 勤務先
 東葉工業 株式会社
 茂原市八千代1-17-14

100年前にたった一人の若者の志から始まった運動。神様でも超越者でもなく私たちと同じ青年の志。100年の時を経て、私たちは今の歴史の中に立っている。自分はこの何者なのか。そしてこの先どのような物語を描こうとしているのか。たった一つのキャンデルの炎がまちを照らすことだってできるはず。次の100年に向けて私たちにもできるはず。



※報告
 7月25日 アメリカ
 カ合衆国セントルイスのJCI本部にて100周年記念モニユメントの除幕式が行われました。ご寄付を頂いた皆様にはモニユメントにお名前を刻印させていただきました。ありがとうございました。

JCI 委員会
 JCI 運動発祥100周年記念事業
 アジア・太平洋地域担当 小山良磨君



自己紹介
君塚 高志 君 (きみづか たかし)
 一般社団法人 勝浦いすみ青年会議所
 青少年育成・研修拡大委員会 委員
 昭和56年10月22日生まれ
 住まい 千葉県 夷隅郡御宿町

御宿町でバーとパブ、それと夏は『日の丸』という海の家を営んでいます。JCは先輩に誘われて入会しましたが、まだまだ経験も浅く分からない事も多いです。これからなるべく事業に参加して地域貢献していければと思っています。

お店は海岸からも近く、地元の方や観光で来られた方等幅広く来て頂いております。ダーツもありですのでお近くにいられた際は是非お立ち寄りください。
勤務先
 ダイニングバー&パブ
 ZERO
 千葉県夷隅郡御宿町新町
 681-1



こちらのQRコードよりアンケートのご協力をお願いします。



自己紹介
 一般汎用産業機械、機器・付帯する装置等の機器修繕を行う「機械のメンテナンス屋さん」を営んでおります。また、ちよつとした溶接もやっているので、夏のBBQで使う鉄板、側溝のフタ、取手がとれちゃった！などでもご相談ください！
 私の所属する茂原青年会議所は茂原市だけでなく近隣七市町村をエリアとしています。そこで、私の住んでいる千葉県のへそ「長南町」を少しだけご紹介したいと思います。
 自然に囲まれた長南町の見どころの一つに「笠森観音」があります。61本の柱で支えられた四方懸造と呼ばれる構造で日本唯一の特異な建造様式として国の重要文化財に指定されています。
 あとはお米が美味しいことでしょうか。長南町の水稲は昼夜の温度差があり水田が山間部の粘土質であるため、粘りが強く甘みのあるお米ができます。自然を感じに是非長南町に遊びに来て下さいね〜♪